



天寿酒造株式会社

〒015-0411
秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下117
TEL 0184-55-3165 FAX 0184-55-3167
http://www.tenju.co.jp
第55号 2009年1月号

昔お世話になった会社の、新入社員研修で絶叫した青春訓に「青春とは心の様相を言うのだ!!」と言う台詞もありますが、運動能力が極端に落ち、坐骨神経痛に尻を揉んでいると、そんな台詞が少し遠くに聞こえるようで、反射的に自分に鞭を入れようとは思っていませんが、ふと、「人間五十年、下天の内をくらぶれば??」等と一度心を落ち着けてみようと言う気になりました。



受章祝賀会にて孫からの花束贈呈

愛いものだとこの思いと、人として親としての自分の未熟を恥じながら半世紀を(まだやっ)とこの考え方もあります。親の責任もまだ終わっておりません。(生きて来たのだと納得せざるを得ません。常に将来のためにと先を見つめて挑戦を続けてきました。今をどう生きるかが大事と言いつつ、目線が先を見過ぎて来たような気も致します。結果、足元が疎かだった様な気もし、だからこそ一生懸命走り過ぎた日々を懐かしくもいとおしく思うのかもかもしれません。

家に戻って天寿に入り二十四年目・JCを卒業して十年目・社長になつて十年目。日本酒の業界にとつては高度成長期後最も厳しい十年を社長として勤めてまいりました。社内でも「環境の変化が早い、会社の変化が早い競争だ」と日本酒の消費量激減の中、製造・販売体制の組みなおし、設備の向上・省力化、社員の多能化・意識改革。何処まで出来たかは判りませんが、足りない所ばかりですが、製造量が三分の一に減少しつつも何とか創業135年を経過し、会長の六代目永吉も昨年喜寿を迎え、十一月には五代目永吉(勲五等瑞宝章)、兄泰蔵(戦死により勲六等瑞宝章)に続き、旭日双光章の栄を賜りました。

新年に思うこと

代表取締役社長 大井建史

明けましておめでとございます。秋田は小雪がちらつく程度の穏やかな新春を迎えました。旧年中のご愛顧を心から感謝申し上げますと共に本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成21年
2月14日(土)

酒蔵開放

場所 天寿酒造株式会社
時間 AM10:00 ~ PM4:00
受付最終15:00

参加無料

純米新酒雪室封印

しぼりたての純米新酒を雪室に封印し5月まで氷温で貯蔵します。この純米酒のまるやかな熟成と安全を祈願し神事を行います。どんなお酒に仕上がっているか5月の封印解除をお楽しみに。

蔵元訪問者限定酒

酒蔵開放当日のみの「しぼりたて限定酒」と「甘酒」を販売致します。

酒造り体験

(先着10名様限定) 14:30 ~
酒造りを見ているだけじゃ物足りない方におすすめ。(要事前予約)

酒蔵探検

新酒が薫る酒蔵を、蔵人が酒造りの行程毎に詳しく説明し、ご案内致します。

天寿のお雛さま

築170余年の本宅座敷で、歴史あるお雛さまを眺めながら、甘酒はいかがでしょうか。

天寿名物アイガモ鍋

夏の間、無農薬田で活躍したアイガモが酒蔵開放でも活躍します。今や名物となりました天寿のカモ鍋。寒い冬、アツアツのカモ鍋と日本酒が最高です。先着500杯(一杯200円)

おしるこ無料サービス

11:00、12:30、14:30に、もちつき大会を開催します。誰でも参加出来ます。ついたおもちはおしるこにして、無料サービス致します。

海産物販売

海の幸の販売です。煮タコ・沖漬イカ・沼エビ・サキイカ・etc...
金浦町: 勘六商店

百宅そば「ももや」

地元鳥海町百宅のそば粉、手打ちソバが特別出店致します。お昼も安心。

無料列車運行

冬道の不安がありません。お酒もゆっくり楽しめます。是非ご利用下さい。

鳥海山麓線「おばこ号」

(下記列車に限りフリー乗車できます。)

本荘発	矢島発
10:50	14:50
11:52	15:50

お得な宿泊プラン

(秋田市より送迎付)
JR秋田駅東口発 天寿 宿泊先 秋田駅東口
別紙又はホームページより酒蔵見学・温泉・料理・送迎付きのお得な宿泊プランへお申込み下さい。

マグロ解体ショー

「鳥海水産」によるマグロ解体ショー
12時開始 他マグロ、筋子販売等

お問い合わせ 天寿酒造株式会社まで 0184-55-3165

急募 酒蔵開放のボランティアスタッフ募集(〆切日 平成21年1月31日)

イベント NEWS



今年も立派な酒林（杉玉）が下がりました。

美酒王国・秋田

「秋田 酒き 漣」

開催日 2009年3月4日(水)
 時間 午後1時 30分～5時
 場所 グランドプリンスホテル赤坂
流通 飲食店 マスコミ(対象)

内容
 参加無料
 流通、飲食店等業界関係者を対象とした試飲商談会です。

「般の方は入場できません」
 銘醸地 秋隼の漣 社が各蔵の自慢の逸品とお燗 漣準備してお待ちしております。
 同時開催 3時～4時 (最強の女性応援団による パネルディスカッション)
 女性プロフェッショナルが切りひらく日本 漣時代!

「秋田 酒楽しむ会」

「一般消費者対象」

時間 午後6時 30分～8時 30分
 会費 5000円
 定員 600名(定員になり次第締め切らせていただきます)
 締め切り2009年2月 1日(火)
 「美酒王国 秋田 漣四季折々の美しい自然の中、良質な 漣 優れた技能を持つ蔵人達により丁寧に醸されています。」

天寿の歴史

(六)-12

杜氏の系譜(8)

代表取締役会長

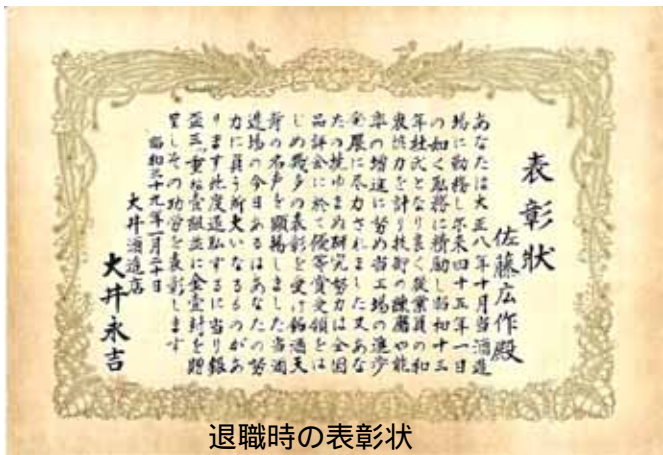
六代目 大井 永吉

昭和十四年七月渡辺謙蔵杜氏の事故死で十四酒造年度の造りは地元の誰かを杜氏にしたのか、他所から頼んだが、或いは五代目が自分で指揮を執ったのか、いろいろ想像したが、私が物心がついたころからは佐藤広作杜氏だったため、長男の広司さん(若いころ当社に勤務)に賞状とか写真が残っていないか尋ねたところ貴重な資料数点が提供された。

その中の退職時の表彰状によると、大正八年十月、当酒造場に勤務し職務に精励昭和十三年杜氏となり云々とある。と言うことは渡辺謙蔵氏は前年の昭和十三年に既に退職されていたことになる。新屋の酒蔵に手伝いに行つての事故と聞いているがすでに雇用されていた蔵だったとも推測される。

佐藤広作さんは会社と同丁内の矢島町城内八森下の農家の出身である。先述したように当時

の蔵人は近くの農家の人々が農閑期の現金収入のための季節労働が殆んどだったが、その勤務振りを見て常勤に採用し優秀な者を選んで杜氏としたが、彼の場合は人物を見込まれて最初から常勤であったようだ。(明治三十六年生・十六才)若くして主要な役に就いていたと思われるものに、大正十五年三月(二十三才)の蔵人集合写真(裏に出身地



退職時の表彰状

の説明書きあり、何故か杜氏の渡辺謙蔵さんの姿は見えない)に新屋出身者の二名と同じく白衣を着ているものがある。彼の技術習得は勿論、実地は渡辺杜氏からであるが、大正九年から毎年行われた由利郡酒造講習会で理論を教わったことも大きく役立っていると思われる。

《次号に続く》



大正十五年の蔵人 丸印 佐藤広作さん

その 秋田銘 酒料理をお楽しみいただく会を開催致します。皆様の「」来場をお待ちしております。

申込み先 秋隼 漣協同組合

URL <http://www.osake.or.jp/>
 :01886939455

由利本荘ひな街道

昨年人気を集めた市観光協会主催の「由利本荘ひな街道」イベントに天寿も参加いたします。

期間 角 由から 3月 14日(日)
 江戸時代の矢島 本荘 岩城の藩主や旧家のお雛様など沢山の古いお雛様が展示されます。



期間中 角 百五十七
 東日本の大
 ハイキングに
 取り上げられ
 した。又、3
 月 14日(日)
 「出発の由利のひなこ巡り」とな菓子作り体験も 各限定 県振興局企画の大変お得なツアーです。

駅からハイキング」申し込み先

「JR東日本 駅からハイキング事務局」

URL <https://www.jreast.co.jp/hiking/index.aspx>

TEL:0357193777
 開催日時 3月 15(土)

開催駅 由利高原鉄道鳥海山麓線矢島駅
 募集定員 80名様
 参加費用 300円(現地各自支払い)

「由利のおひな」巡り」

ひな菓子作り体験」お問い合わせ
 秋隼由利地域振興局地域企画課
 鳥海まるこ観光振興班
 TEL:0184225432

詳しくは河北アルファ Webまで
<http://alphakahoku.co.jp:80/top/>
flashpaper.jp/alpha090112.htm

試飲会の「案内」

1/2日、2日 西武百貨店 池袋店】

地下1階食品部和洋 漣場にて試飲即売を行います。

この時期おすすめのはりたて生漣限定 漣を含めた様々なお 漣準備してお待ちしております。

売場には、営業の佐藤博輝(鳥海町出身)が参ります。
 どうぞお気軽にお立ち寄りください。